ばい煙発生施設設置)(使用、変更) 届出書

20■■年 ■■月 ■■日

奈良県知事 殿

〒635-1234 奈良県〇〇市〇〇町 1-2-3 株式会社〇〇工業 代表取締役 奈良太郎

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

電話番号 0742-22-1101

大気汚染防止法第6条第1項(第7条第1項、第8条第1項)の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場 の名称	株式会社〇〇工業 ××事業所	※整理番号			
工場又は事業場 の所在地	奈良県〇〇市〇〇町 1-2-3	※受理年月日	年	月	目
ばい煙発生施設 の種類	1項 ボイラー(1基)	※施設番号			
ばい煙発生施設 の構造	別紙1のとおり。	※審査結果			
ばい煙発生施設 の使用の方法	別紙2のとおり。	※備 考			
ばい煙の処理の 方法	別紙3のとおり。	1 XVIII			

- 備考 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 に掲げる項番号及び名称を 記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4 とすること。

ばい煙発生施設の構造

工場	:又は事業場における施設番号	N (o. 1				
名	称及び型式		ドイラー 2 000				
設	置年月日	年	月	日	年	月	目
着	手 予 定 年 月 日	20●●年	●●月	● 目	年	月	日
使	用開始予定年月日	20△△年	△△月	ΔΔΕ	年	月	日
	伝 熱 面 積 (m²)		1 2				
	燃料の燃焼能力 (重油換算L/h)	1	20		重油換算し <i>t</i> :	値を	
規	原料の処理能力 (t/h)				記入してくだ 液体燃料 1		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m²)				気体燃料 1 固体燃料 1		
	変圧器の定格容量 (kVA)				1		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)						
	焼 却 能 力 (kg/h)						
	乾 燥 施 設 の 容 量 (m³)						
模	電 流 容 量 (kA)						
	ポ ン プ の 動 力 (kW)						
	合成・漂白・濃縮能力 (kg/h)						

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
 - 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業	美場における施設番号	1 号ボイラー		
	1 日の使用時間及び	9時 ~ 20時	時間(同	~ 時
使用状況	月使用日数等季節変動	11時間/回 1回/日 31日/月 無し	時間/回	回/日 日/月
	種 類	AN C		
原 材 料 (ばい煙の	使 用 割 合			
発生に影響	原材料中の成分割合	いおう分 鉛 分	いおう分	鉛分
のあるもの に限る。)	(容量·重量%)	カドミウム分 弗素分	カドミウム分	窒素分
. ,,,,	1日の使用量	A 丢油		
	種 類 燃料中の成分割合	A 重油 灰分 いおう分 窒素分		おう分室素分
 燃料又は電	(容量・重量%)	0. 01 0. 40 0. 02	DCD V	至积为
力	発 熱 量	45.090 kJ/kg		
	通常の使用量	1 1 5. 3 L/h		
	混 焼 割 合	専焼		
 排 出 ガ <i>ス</i>	、量 (m³/h) <mark>湿 り</mark>		最大	通常
III. 111 28	乾き		最大	通常
	ス温度 (℃)	250		
排出ガス中	. 20	5. 0		
	$\begin{array}{cccc} \mathcal{C} & \mathcal{C} & \mathcal{C} & \mathcal{C} \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & $	最大 0. 1 通常 0. 1	最大	通常
	い お う 酸 化 物 (容量比 ppm)	最大 200 通常 200		窒素酸化物、塩化水素
	カドミウム及びその 化合物 (mg/m³)	最大 通常		票準酸素濃度で換算し してください。
ばい煙の濃	塩 素 (mg/m³)	最大 通常	最大	通常
度	塩化水素 (mg/m³)	最大 通常	最大	通常
	弗素、弗化水素及び 弗化珪素 (mg/m³)	最大 通常	最大	通常
	鉛及びその化合物 (mg/m³)	最大 通常	最大	通常
	室 素 酸 化 物 (容量比 ppm)	最大 120 通常 120	最大	通常
ばい煙量	い お う 酸 化 物 (容量比 m³/h)	最大 0.313 通常 0.281	最大	通常
参考事項	備考 5	 を参照し、該当の場合は記入して 	ください。	

- 備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 4 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
 5 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関またはガソリン機関については、常用又は非常用(専ら非常時において用いられるものをいう。)の別を明らかにすること。

ばい煙の処理の方法

ばに	ハ煜	更処理施設の工場 3 ける施	· 又 / 設	は事業番	場号	N	o. 1						
処五	里に	- 係るばい煙発生 事 業 場 に お け る	施	設の工	場	1号:	ボイラー						
		処理施設の種類、											
設		置年			目	年	月	F	1		年	月	日
着	I	手 予 定 年	F	月	Ħ	20●●年	●●月		1		年	月	目
使	用	開始予定	年	月	日	20△△年	△△月	ΔΔΕ	1		年	月	日
	排		. 最		大	1	706						
		(m^3/h)	通		常	1	5 3 5						
	排	出ガス温度		理	前		300						
		(℃)	処	理	後		250						
			処	理	前). 2						
		(g/m³)	処	理	後	0). 1						
		いおう酸化物		理	前								
	ルギ	(容量比 ppm)	処	理	後								
	ば	カドミウム及びその		理	前								
	V	化合物 (mg/m³)	処	理	後								
処	煙		処	理	前								
_	σ	(mg/m³)	処	理	後								
	D	塩 化 水 素	処	理	前								
i i		(mg/m^3)	処	理	後								
TH	濃	11 11 11 1 11 11	Ln	700				1					
理	濃	弗素、弗化水素及び弗化		理	前			-					
理		珪素 (mg/m³)	処	理	前 後				/				場合のみ
		珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物	処 j 処	理理	前 後 前				/		とない。 こくださし		場合のみ
		珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³)	<u>処</u> 処 処	理 理 理	前 後 前 後				/				場合のみ
		珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物	処 処 処 処 処	理 理 理 理	前 後 前 後 前				/				場合のみ
能	度	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³)	処処処処処処処処	理 理 理 理	前後前後前後				/				場合のみ
能	度 	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm)	処処処処最	理 理 理 理 理	前後前後前後前				/				場合のみ
能	度ばい	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物	処処処処 最大	理 理 理 理 理 理 処 理	前後前後前後前後				/				場合のみ
能	度 	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm)	処処処処 最大 通	理 理 理 理 理 処 理 処 理	前後前後前後前後前				/				場合のみ
能	度ばい煙	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h)	処処処処 最大 通常	理 理 理 理 理 理 処 理	前後前後前後前後前後		5.0		/				場合のみ
能	度ばい煙量	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばい	処処処処最大通常じ	理 理 理 理 型 型 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理	前後前後前後前後ん		5 0		/				場合のみ
能	度 ばい煙量 捕	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおう びおう	処処処処最大通常じ	理 理 理 理 処 処 理 処 理 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	前後前後前後前後ん物		5 0		/				場合のみ
能	度 ばい煙量 捕集	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおうび カドミウム及び	処処処処最大通常じ	理 理 理 理 処 処 理 処 理 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	前後前後前後前後ん物物		5 0		/				場合のみ
能	度 ばい煙量 捕集効	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおう型カドミウム及び塩	処処処処鬼よ通常じゃん	理 理 理 理 処 処 理 処 理 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	前後前後前後前後ん物物素		5 0		/				場合のみ
能	度 ばい煙量 捕集効率	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおう及び塩 塩 塩	処処処処鬼大通常じった水	理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理	前後前後前後前後ん物物素素		5 0		/				場合のみ
能	度 ばい煙量 捕集効	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおう型カドミウム及び塩塩 塩化素、弗化水素及	処処処処処最大通常じ酸それび	理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理	前後前後前後前後ん物物素素		5 0		/				場合のみ
能	度 ばい煙量 捕集効率	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおう型カドミウム及び塩塩化ウム及び塩塩化水素、サル水素及	処処処処処最大通常じまる水び「	理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理	前後前後前後前後心物物素素素		5 0		/				場合のみ
理 能 力	度 ばい煙量 捕集効率 % 用	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおう及び塩 塩化赤素、弗化水素が 塩水素、サイン・ 塩素、サイン・ 塩	処処処処処しまなりである。水びイ	理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理	前後前後前後前後人物物素素素物物	9時	~ 20	•		記入して	時で	`。	
能	度 ばい煙量 捕集効率 %	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化ppm) いおう酸化 (m³/h) びおう酸化 か (m³/h) ばいおうびカス 塩化 カース 塩水素、弗化水素が、 窒素酸 1日の使用時間及	処処処処処鬼は通常じまる水び一の	理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理	前後前後前後前後前後人物物素素素物物数	9時11時間/回1	~ 2 C 1 回/日:	時31日/		時間/	で は で で で で で で で で で で で で の で の で の	~ 時	日/月
能力 一	度 ばい煙量 捕集効率 % 用況	珪素 (mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおう及び塩塩化・ウム及び塩塩水素、サイン・ウム及び塩塩素、サイン・ウム及び塩塩素、サイン・ウムの変素の使用時間及一季節	処処処処処最大通常じまる水び一の一の変	理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理	前後前後前後前後的後人物物素素素物物数動	9時11時間/回1	〜 2 C 1 回/日: 無し	31日/		時間/陣笠	可 の 可 の 打 の 1 0 1 0 1 1 2 3 4 5 6 9 6 9	` <u></u> 」 - <u>日</u> こちらl	日/月
能力更大排	度 ばい煙量 捕集効率 % 用況 出	珪素(mg/m³) 鉛及びその化合物 (mg/m³) 窒素酸化物 (容量比ppm) いおう酸化物 (m³/h) ばいおう及び塩塩パーション 塩塩塩化 水素の なった。 塩水素、サビ水素の 変素 酸 1日の使用時間及季節	処処処処処最大通常じまる水び1 月変出	理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理理	前後前後前後前後前後人物物素素素物物数動	9時11時間/回1	~ 2 C 1 回/日:	31日/		時間/陣笠	で は で で で で で で で で で で で で の で の で の	` <u></u> 」 - <u>日</u> こちらl	日/月

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が 1 気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス 1 立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 4 補正された排出口の高さ He は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
 5 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添附すること。